

にしざき じんご 西 甚 報 告

発行 / 西崎甚吾後援会事務所
志摩市阿児町神明 878-112
TEL/FAX 0599-43-2101
メール nishijin@ypost.plala.or.jp



平成 22 年第 1 回定例会が開催されました。(会期 2 月 24 日～3 月 23 日)。市長による平成 22 年度施政方針実施。提出議案(報告 1 件・条例等 18 件・当初予算 11 件・補正予算 9 件・議員発議 1 件)は常任委員会、特別委員会審査と本会議審議におきまして、採択可決されましたが請願 4 件は否決となりました。

◎◎一般質問は 2 日～4 日に 14 名が行い、★☆☆西崎甚吾は 3 月 2 日に次のような質問を行いました。

ホームページのご案内

フォーラム未来

西崎甚吾

検索

平成 22 年度から始まる財政健全化計画は大丈夫か！

□ 質問 - 国の緊急財政処置が各地の地域経済を救っている。今は、そういう状態であります。志摩市も、国から 2 年間で、約 20 億円の財政支援をいただいているところです。「財政健全化アクションプログラム」を実行していく予算編成が始まりました。平成 22 年度予算で財政健全化を図ったところはどこなのか。今後の基金残高や、積立金に対して、また志摩市の資金繰りと償還能力について財政当局の見解を伺います。

■ 答弁 - アクションプログラムの試算として、施設の統廃合や事務事業の見直しにより約 7,000 万円の削減を、また、財産収入や使用料の改定により 3,000 万円余りの収入で、**総額 1 億円余りの影響額**を見込んでおります。新浜島小学校への統合や**連絡所業務の縮小**、地区公民館事業の廃止で**公民館主事・分館長制度の廃止**等により健全化を図っております。平成 26 年度までアクションプログラムを実行していくことで、財政調整基金の積立て目標を達成することが可能となります。また、償還について起債返済のための公債費は、平成 26 年度までの 5 年間は 31～34 億円の範囲で、平成 31 年度までの 5 年間は 37～39 億円の範囲で推移します。このうち、合併特例債の交付税措置があり元利償還金の 70%が交付税算入されますので、実質は 30%の起債増となります。起債残高は、**平成 25 年度に 380 億円余りのピーク**を迎えますが、以降は減少傾向にあり、**平成 31 年度には、平成 21 年度を下回る約 285 億円**となる見込みであります。

公民館事業と地区集会施設はこれからどうなるのか！

□ 質問 - 財政健全化のために、施設の統廃合・事業の見直しということですが、今回の「公民館などの集会施設や連絡所」の業務改革について、自治会等との協議で、理解や協力をしていただいたのか。住民への周知は行われ 4 月から開始していただけるのか。今後、地域と連携した施設の運営管理はどうして行くのかお尋ねいたします。



鵜方公民館

■ 答弁 - アクションプログラムについて、各自治会長が出席する町単位の自治会連合会で説明したところであります。公民館の施設管理について、公民館長、公民館主事がいなくなるため色々ご意見をいただきました。公民館については 4 月以降、コミュニティセンターという位置づけになります。公民館から地区の集会施設に変更するものであり、ご利用いただく皆様で責任を持って後片付けや戸締りなどを行っていただくことを基本と考えています。



神明公民館

連絡所については、設置されている大王町と志摩町は従来からコミュニティセンターや公民館に併設していますが、阿児町では保育所や児童館から連絡所を集会施設・地区公民館等に移して、施設利用の予約や鍵の管理も行います。**連絡所の半日業務化**については、周知期間が必要ということで、4 月から**半年間は従来通り一日業務**とし、**9 月から実施**したいと考えています。また、集会施設等の指定管理については、今後 2 年間の中で、施設の利用頻度や業務量等に応じた指定管理料につきましても検討し、自治会の皆様と協議の上で、コミュニティセンターの指定管理について進めていきたいと考えています。

平成 22 年度 当初予算決定する！！

大口市長は施政方針の中で、志摩市においても今後益々厳しい財政状況が予想されるが、昨年策定しました「志摩市財政健全化アクションプログラム」に沿った行財政改革に取り組み、財政健全化を図ってまいります。

平成 22 年度は『志摩市再起動』に向けて、本格的に施策を実施する年度と据え、公約実現のため予算編成において枠配分におりませた「志摩市再起動枠」を設定し、行財政改革と並行しながら積極的な事業展開を図る予算編成を行いました。新庁舎も完成し、本庁と支所との業務分担についても、安定した行政運営の効率化と市民の利便性の向上が図られているところです。

これからさらに、**施設の統廃合、事務事業の見直し**等を推進し財政の健全化を図りながら、今後最優先に考えなければならない施策、最も必要なことは何であるかを**長期的展望**に立ち、しっかりと見極め、その実現に向けて邁進しますと述べられたのであります。

平成 22 年度 志摩市全体の当初予算総額		
会計区分	本年度予算額	前年度比増減
一般会計	238 億 3,647 万円	+17 億 1,812 万円
特別会計	140 億 9,686 万円	+5 億 8,321 万円
企業会計	41 億 3,459 万円	-6 億 3,734 万円
全体予算総額	420 億 6,793 万円	+16 億 6,399 万円